

特別会計

介護保険

通所型サービスB事業について

奥山委員

通所型サービス

B事業は新規事業だが、内容と目的は、

当局

住民主体の、要支援者を中心とした日中の居場所作り、定期的な交流を行なう場である。「なないろの会」が事業を開催していく。

奥山委員

補助が出るが、

要件は、

当局

総合事業の枠組みの中の補助となる。大きな縛りはないが、必ず守る基準があるため、補助金交付要綱に定める。



住民が主体の交流の場

奥山委員

実施団体を増やすことと、開催場所の確保についての考えは、

当局

地域への支援合いについて啓蒙し、将来的に実施団体を増やしていきたい。開催場所は、公共施設や空き家の利用なども検討していきたい。

事業会計

町立病院

地域医療構想の中の白鷹病院の役割は

奥山委員

地域医療構想や

診療報酬改定を踏まえた経営改善とあるが、地域医療構想における病院の役割は、

当局

県としても、自治体の一つしかない小規模病院には、ある程度の急性期的な機能が必要としている。今後の医療の方向性として、公立置賜総合病院などからの転入院などについて期待する。在宅患者の訪問診療料の報酬等も合わせ、将来の見通しを考慮していきたいと考えている。

訪問看護ステーション

訪問看護ステーションの今後の取り組みは

奥山委員

開業医も助かる

という話もある。利用者の拡充への対応は、

当局

開業医の患者にも訪問しており、利用者の16%が開業医の患者である。利用した家庭からは、安心感があり頼んで良かったと言われる。PRして知ってもらい、利用者を増やしたい。

奥山委員

この事業をなくさないための方法は、

当局

お金に関わる部分になるため、努力はしてもらいながらも、将来にわたっては、町として応援することの検討が必要になると思っている。

反対討論

石川 重二議員

安心・安全なまちづくりや、しらたか元気つ子事業、高齢者生活支援、学童保育など評価に値する事業は多い。

しかし、中丸池下流の防災に関しては、豪雨被害に対処する改善工事を行うべきである。

また農業政策では、これまで小規模農家に対する支援を行ってきたが、昨年から配慮されず、まったく思いが届かないとの不満が届いており、今予算にも反映されていない。このような点から反対である。

反対議員Ⅱ石川議員

賛成討論

小口 尚司議員

町の歳入は厳しい状態が続いており、基金を活用し町債が縮小されているが、今後も将来負担軽減に配慮されたい。

人口減少緊急対策として若者の定住、移住に向けた事業の効果に期待し、また学力向上に向けた取り組み、子育て支援や教育に関する保護者の負担軽減施策は高く評価する。

迅速かつ確実な事業遂行により町民福祉の増進につながるよう期待し、賛成討論とする。

賛成議員Ⅱ渡部・笹原 佐々木・小口・小形・田中・山田・奥山・佐藤・菅原・関・今野 各議員